

今年も残すところあと僅かです。今号では市民お月見会の入選作品の紹介や特選受賞者のコメント紹介をはじめ、年明け以降の行事紹介を中心にお届けします。世相は穏やかでない気がしますが、お月見会の受賞作品を読むと、世相がどのようなものであれ、個人の心の中には豊かな感性や平和が息づいていることを教えてください。みなさんも是非お読みください！

第51回豊橋市民お月見会 受賞作品紹介

11月23日(土)に「第51回豊橋市民お月見会」の表彰式が行われました。今年は短歌113首、川柳144句、俳句164句の中から「特選」「秀逸」「佳作」の作品がそれぞれ選ばれました。特選の方々のコメントとともにご紹介いたします。

●特選作品紹介

【短歌の部】
月に向け蹴りだすスケボで飛ぶ君は
大人の前のうさぎの化身

神野まり子

— どのような想いで詠まれましたか？

パリオリンピックで14才・15才・16才がメダルを取るスケボが気になっていたところ、駐車場でスケボを練習している子を見かけ彼もオリンピックに感化されたと思いました。そんな風景と月を結びつけて作りました。若いひたむきさを見守る月を表現したかったです。

— 短歌を始められたきっかけを教えてください。

かつてサラダ記念日を読んだ時、これなら私にも出来るかもと思いながら日々の忙しさに忘れていましたが、仕事をやめてしばらくした時、豊川文化協会の短歌初心者講座を見つけて受講して始めました。

*

【川柳の部】
老介護優しい月に癒される

竹内そのみ

— どのような想いで詠まれましたか？

ゴルフ大好き、カラオケ大好き、定年後はカメラを持って北は北海道から、南は沖縄まで駆け廻っていた夫が、パーキンソン病と骨髄腫の告知を受けました。青天の霹靂です。歩行困難の上一人では何も出来ない身体になり、飲んでる薬の副作用で幻覚症状が起り、夜中に何度も私を起こします。カーテンレールの上に猫が六匹居るとか、今日は蜘蛛が一行に並んでいるとか…。九十歳を過ぎた私の身体も限界です。

今夜も窓辺の月は優しい母の顔に似て、私を見守ってくれて居ります。

— 川柳を始められたきっかけを教えてください。

昭和60年頃、曾田糾葉先生を講師とする(こざかい川柳会)があり「新年句会があるので一度遊びにいっちゃい」と誘われ、その時の題が「四角」でした。先生のお話があり、幼い頃に両親を亡くされ、親戚に預けられ様々な苦勞をされた事、そして大好きな佐渡情話を泣きながら演じておられました。選が始まり、私の句は一向に読みあげて下さらず、やっぱり駄目だと思って

いたら、『糾葉さん四角い顔で丸い人』これは誰の句だゾン』と言われ、私は笑いながら手をあげました。「これは凄い句だゾン本日の特選句だ」と褒めて下さいました。喜怒哀楽あたたかい人間を読む川柳が好きになりました。

*

【俳句の部】
妻が焼くクッキー句ふ良夜かな

竹澤克晃

— どのような想いで詠まれましたか？

中秋の名月の頃は毎年庭に出て、月を愛でることを楽しみにしてまいりましたが、子供が小さい頃は妻がクッキーなど焼き楽しんでいました。今では孫が来た時当時のようにクッキーなど焼き、孫にも伝えていきます。昔と今を重ねながらこういうことが本当の幸せの一コマなのだろうと、一句にしたためました。

私が俳句に親しんでいることは埼玉在住の孫にも伝わっており、興味を持っていたようで、令和4年に中学校のある「おおた俳句大会ジュニアの部」で特選の栄に浴しました。この時の句が同じ名月を句材としており、奇縁なことだと感じた次第です。今回の受賞がまた孫にいい影響を与えさらに続けていくことを願っています。

— 俳句を始められたきっかけを教えてください。

学生時代に興味があり少しかじっていたのですが、卒業とともに殆ど遠ざかり、四十年の歳月が流れてしまいました。退職前に病魔に襲われたものの、九死に一生を得ることが出来、今後は健康管理第一に生きていこうと決心、運動と知的趣味を積極的に取り入れるようにしました。その一つが俳句との再会でした。2010年名古屋の句会「伊吹」に入会し活動してまいりましたが、令和4年に主宰の柴田雅人先生が逝去され、句会としては解散、会員それぞれの道をゆくこととなりました。今は豊川市の仲間と月一回の句会を楽しんでいます。

入選作品集を配布しています。

今回のお月見会の入選作品集を三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で無料配布しています。

▲表彰式の様子

●秀逸作品紹介

【短歌の部】
友と見る吉田の月は花の色しばし出づる
な白き雲井よ

羽鎌田康弘

病む友とふたりで迎る月明かり最上階の
緩和病棟

長谷川公代

落語さく見あげる顔も丸くして皆楽しげに
笑う満月

彦坂吉尚

【川柳の部】
あの義母が今は満月より丸い

尾方静子

主義主張しばし忘れる月明かり

山口タカシ

名月が雲一筋を連れ冴える

伊藤信平

【俳句の部】
わだかまりゆるく溶けゆく良夜かな

神藤美智子

素振りして月光を斬り風を斬り

久野敦子

母の亡き厨に満ちて今日の月

森 美穂

*

【学生の部 優秀作品】
(短歌) どう観てもまだまだどこか歪みいる
十五夜という今夜の月は

高柳ポール杏音

(川柳) くりごはんうつわのなかもおつきみだ

池田めい

(俳句) 月うさぎ光を辿って寄っいで

鈴木優葉



第42回 財団加盟 美術団体 選抜展

鑑賞 無料

2025年 2月11日[火] — 16日[日]

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

豊橋市美術館 第2・3展示室

出展団体【順不同】

写真集団・四季風、日本習字、香風書院、洗心書道会、邦友会、澄心会書道、華友会、豊橋楽書会、瑤玉印社、三河書芸会、書写かぎろひ、一穂会、豊橋ペン書芸研究会

新春文化ランチタイム交流会のご案内

毎年開催しております新春文化団体交流会ですが、令和7年は趣向を新たに昼間のランチタイムに開催する運びとなりました。より気軽に、リラックスしてご参加いただき、地域文化を支える方々と交流できることを願っています。ぜひご参加下さい！

■と き／令和7年1月24日(金) 12時30分～

■ところ／ホテルアークリッシュ豊橋ガーデンサイト5階

▼会費／6,000円(1名分) ▼お申込み／各団体様宛に案内状を送付いたします。出欠をご記入の上、ご返送ください。

▼問合せ／豊橋文化振興財団(Tel.0532-39-5211)



ご参加
お待ちしております！

今年はお昼の
ランチ会です

△昨年ようす

今号の一枚



「12月の街角」

写真家 田中 歩

撮影場所：名古屋市

NHK文化センター名古屋教室／浜松教室 講師

文化団体紹介 Vol.42

オオミ ナオ バレエスタジオ

今号では、オオミ ナオ バレエスタジオの大見奈央先生にお話を伺いました。

— 先生がバレエを習い始めたきっかけは？

3歳の時に親にバレエが習いたいと自分で申し出たそうです。私は覚えていないんですが(笑)。バレエを習う子の多くは踊る事が好きだったり、衣裳に憧れたり色々なきっかけがありますが、踊る事が大好きだったのはしっかり覚えています。

— バレエを本格的に続けていくんだというのはいつ頃意識しましたか？

高校入学前に、当時はソ連でしたが(笑)ロシアへの短期留学へ行くなどバレエにはしっかり取り組んできたのですが、本当に強く意識したのは大学進学を意識してからです。私、勉強は好きでなかった(笑)、体育大学とかに行きたいと思っていたのですが、学校の先生が大学でバレエを学べるところがあると教えてくれ、大学受験を目の前にして名古屋へもレッスンに通い始め、大阪芸術大学の舞踊コースに進学しました。

— 大学の舞踊コースはどんなところですか？

1学年16名とかなり少数だったのですが、同級生にはバレエ団で既に活躍する子、国際コンクール上位入賞者などもあり、とてもレベルが高かったです。バレエ団のレッスンや活動でほとんど見かけない子もいました。今はどうか分かりませんが、当時は表の時間割と裏の時間割があって、当然裏の時間割が実際ののですが(笑)、毎日バレエのレッスンがありました。実演者はとにかく毎日レッスンが必要という考えからです。もちろん、様々な必修科目も一応きちんと学びましたよ(笑)。

— 卒業後はどうされましたか？

卒業してももちろん毎日レッスンしますし、大阪、京都を中心にバレエ関係の仕事をしつつオペラ公演などにも出演しました。でも、長くレッスンを続けているうちに、身体にも負荷がかかっていて、足を疲労骨折して2

週間入院してしまった時期があったんです。その時に、2週間の間にずいぶん細くなった自分の足を見ながら、ふっと「バレエはもういいかな」と思った瞬間がありました。ちょうどその時に、知り合いから滋賀の教室でバレエ講師がいなくて困っていると相談をされ引き受けてみました。そして実際にやってみると、自分が今まで多くの先生方から教わったことを、今度は自分が生徒たちに伝えることの喜びと、生徒たちが上達していく姿にとってもやりがいを感じ、教えることが楽しくなってきました。

— 故郷である豊橋で教室を開く苦勞はありましたか？

2002年に豊橋でバレエ教室を主宰することとなりましたが、長らく関西が生活基盤だったので本当にゼロからのスタートでした。それこそ、最初は1本の電話すら逃すまいと事務所にいつも詰めてました(笑)。10年全力でやってようやくバレエスタジオとしてのスタートラインに立てた感覚になったのを今も覚えています。20年経って、自分のスタジオの在り方がようやく分かってきた気がします。

— レッスンで大切にしていることは何ですか？

子どもは本当にそれぞれです。10人いれば10人とも違う成長の仕方があります。大切なのはコツコツと努力すること。コツコツ努力する子はある日びょーんって成長します。がんばったら変わるんだという経験は、その子が大人へ成長していくための礎になると思っています。私自身、これまで多くの指導者に出会い、その皆が私の中に残っている感覚があります。自分の生徒たちにも、彼ら彼女らの人生に前向きな力を届けられるよう、全力で精神誠意指導しています。生徒には大人の方もいますが、大人はバレエとのそれぞれの楽しみ方や向き合い方がありますので、そこを尊重して指導にあたっています。

— 最後に夢をお聞かせください。

もちろん、海外のバレエ団でも活躍する子が出てくれば本当にうれしい事です。先ほどの話と重なりますが、子どもはみんなそれぞれ。レッスン回数にしても週に1回の子もいれば、週5回の子もいます。でも、人比べずその自分の時間を大切に使ってほしいと思っています。そして、彼、彼女らの人生の中で、バレエが大切な何かになってくれること願っています。



第11回発表会より「葦笛の踊り」

撮影：デス・大阪

豊橋市民文化会館 1月～3月休館について

現在改修工事中の豊橋市民文化会館ですが、工事に伴い令和7年1月～3月末日まで全館休館となります。この期間中、配本センターを含むすべての諸室についてご利用いただけません。なお、豊橋市民文化会館事務所は営業し、施設予約の受付等を行います。

【令和7年1月～3月に実施する利用抽選会の会場変更について】

この期間中に予定されている利用抽選会については、豊橋市公会堂にて開催いたします。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



市内文化団体主催および豊橋文化振興財団が
後援する催し物を中心に掲載しています。掲載
のご希望は、問合せ先までご連絡ください。

催し物スケジュール 1月-2月

※この予定表は予告なしに変更になる場合がありますので、事前にお確かめください。入場料は前売料金。

気まぐれ

VOL.17

プチ旅

関西ディープゾーンから 陽光の蘭島へ

斧路朱音

今回の旅は「プチ旅」史上最長不倒の6日間である。

まずは『西宮市大谷記念美術館』で3日間の任務をこなすため、＜三宮＞に2泊、＜尼崎＞に1泊。4日目の早朝、美術品を積んだトラックに乗り込んで、『とびしま海道』の玄関口にあたる安芸灘大橋を渡り、瀬戸内海に浮かぶ陽光の蘭島へ…『三之瀬御本陣芸術文化館』と日本近代絵画を中心に豊橋ゆかりの森清治郎や野田弘志の作品も収蔵する『蘭島閣美術館』に運んできた美術品を振り分け、翌日から展示作業…この間＜広島＞に2泊するという行程だ。

はじめて訪れる『公益財団法人 西宮市大谷記念美術館』では、大谷竹次郎(元昭和電極社長)が収集した近代絵画を中心とするコレクションを展示するほか、国内外の近・現代美術を紹介する企画展を開催。とりわけ毎年行われる「イタリア・ポロニャ国際絵本原画展」は子供からお年寄りまで幅広く親しまれている。水と緑の美しい庭園が自慢で、エントランスロビーからは、緩やかに流れる滝を楽しむことができる。

最寄り駅の阪神線＜香櫨園＞から＜神戸三宮＞までは＜芦屋＞経由で約20分。作業後のオアシスは、三宮地下商店街…通称「さんちか」なかでも食事処が密集する「センタープラザ」と「センタープラザ西館」の地階は、昭和の匂いがプンプン漂うディープゾーンだ。初日の帰り道、芳しい香りに釣られて立ち寄った『ひさし屋』で《たこ焼き》をツマミ食いしてしまったので、ここでは『かつ井吉兵衛』の《ミンチかつ井(小盛)＋温泉玉子》をチョイス。2日目は趣向を変えてJR＜三ノ宮＞高架下路地でギョウザ専門店を名乗る『悦記』に



出だし、《焼き餃子》と《小籠包》を試した。そして3日目の尼崎では、吞兵衛のアジト『鉄板あさひ』に潜入調査を敢行。生ビールとともにカラッと揚がった《野菜串かつ(7本セット)》を注文…ウスターソースをたっぷり掛けて食す。それにしても関西食文化のレベルの高さは半端ない。

4日目と5日目の夜は、広島市内を徘徊…空腹の胃袋を満たしてくれたのは、人参入り《炒飯》やパリパリ《餃子》が名物の町中華『点心飯店』と広島が発祥とされる《汁なし担々麺》を提供する『キング軒』…焼きめし(お代わり自由のスープ付)のボリュームと担々麺に投入された花椒の痺れる辛さにノックダウン!

何はともあれ、中身の濃い充実の6日間はあるという間に過ぎ去った。瀬戸内の陽光の眩しさとコブダイが優雅に泳ぐ海的美しさは、疲れた心と身体を芯底癒してくれた。そして、下蒲刈町の《呉焼き(そばイカ玉)》とekie 広島で食した『みっちゃん』の《お好み焼き(そば肉玉)》の味は、決して忘れることはないだろう。

ただ一つだけ心配なのは、この旅で膨張した腹回り…帰還後、体重計に乗るのが恐ろしい。



第54回 コーラスのつどいを開催しました。

11月13日(水)、ライフポートとよはしコンサートホールにて、第54回「コーラスのつどい」を開催しました。今年は12団体が参加し、200名を超える方々が参加しました。各コーラスグループの皆さんが日頃の練習の成果を生き生きと発表するとともに、今年は久しぶりに全体合唱も復活し、お客様も交えて「今日の日はさようなら」を合唱し唄う喜びを分かち合いました。来年もより多くのコーラス団体の出演をお待ちしています。



▲多米コーラス

豊橋茶道クラブ初釜茶会ご案内

新春の一品を楽しみませんか?

■とき/令和7年1月12日(日)

■ところ/豊橋市三の丸会館

■担当流派/裏千家今和会

▼会費/茶道クラブ会員1,100円、一般の方1,300円[点心得] ▼予約方法/事前予約制となります。記載のQRコードから、もしくは豊橋市三の丸会館(Tel.0532-56-6022)へお電話でご予約ください。受付開始は12/13(金)9時～、受付時間は9時～16時30分

事前予約制
となります。

申込フォーム QR コード



文化短信

▼豊橋文化短歌会

十月 日曜歌会

さつと決める私なかな決められぬ私どちらも私うんうん

盆休み昼のニュースのサブライズ総裁選に岸田不出馬

鯉二匹戯れている傍らで亀は横目でカメラハメハ蹴り

干す竿の無きまで干してあをぐ空晒の襦袢の揺れし青空

つらつらと想ふに在らずよ八月は頻突き上げてみつむ青空

背の山を越せば遠州山門の阿吽の像に秋蝶戀ふ

空地より涼風部屋中かけ巡り湯上りの肌をなでては行きぬ

お揃ひのみどりのスカートの十三人施設に歌を届けむと行く

十月 水曜歌会

しあわせだったのだから夢で帰るあの家はいつも電燈のつく

猛暑すら独占するか熊蜂の声つき抜けて扇風機の

き抜けて扇風機の夏目伊代子し込んでラップを剥がすやうに

答へる 伊藤はつあ 室澄子

かの前の孫は危うき箸さばき出かがる言葉をとく 伊藤はつあ

半袖にアイロンしつかりかけながら過ぎ行く夏に別れを告げる

朝焼けは四方の雲に声掛けて個性豊かな顔にしている

風さやぐ山のなだりに藤袴友を想ひて歩みゆるめる

われ肩に白眉混じりて吐息つけと一嫌、いや、しかし

直しぬ 藤井正子

朱の皮を乾かしながらころころとビックバンキンハロウイン

を待つ 内藤よし胡

その実は色なくうり坊に似る 鈴木りのり

十一月 水曜歌会

雲間は此処だけに雨降らせゆき雲間の蒼に短く虹顯つ

家の壁覆わんとする草薙のこころの庭 内藤よし胡

まがやめばはるの天井脱ましまつたとき大きく口を開けた

命短きゆえに 夏目伊代子

遠ざかるバスを諦め路へと歩き出す背に夕風寒し

隠し味に人情絡めて料理出す孫四人娘も入れて同じ声よく

風機いっのちの同じく壊れたる姿さらしめ酷暑の果てに

天辺はるか七百年の老木に触れれば聞こゆ古語り

デパートで玩具選びに決めかねてスマホ取り出し嫁に訊ねる

穂芒は張り合ふごとく直ぐ立てり背高泡立草の隣で

洲淵智子

晩夏乗せ白雲ゆつたり深いぬ城跡からの声なき声も

古希すぎし義姉と吾と姪二人チヤラ娘の女子会満開に咲く

表浜トワイライトの数分は言葉のみ込むまがまがしき色

十一月 日曜歌会

大要と不幸は違ふと夫に言う届かなかつた私の言葉

丸しばりみかん五個分みずみずとかさつく喉に潤い

水路へと夕日まつすく差し込めば炎となりて水面は燃ゆる

つばつて生きてゆこうと午前四時ラジオの声に吾もうなずく

待つてるよ雄々しく征きし兄さん達のホタルとなりて還り来八

何をあてに捻る穂波きららさきの舞ひ立つ朝をなほ膨らみて

十月の月上旬なれどクワイラーの音の間こゆる中央図書館

作業着の後期のドラエモン特技は無いがポケットが好き

別れ際「きちんとこはん食べりんよ」思ひがけなく癒されて

鳴き馴れぬ声ににきりて鳥が聴きさみしいようと聞こえる

「あなただけ」と吐くやうに秘密告げられたりカリーブミラーに

何も映らず 宇佐美幸枝

▼豊橋市民俳句会

六七八回句会

小豆すず旧街道の石畳

太き指置躍らせて打ちにけり

蓮の実のおかたとびし水の錆

蓮の実の飛んで知り得る親心

綾取りの指先連れ夜長かな

いづこより笛の音聞こゆ無月

行列のできるうどん屋秋の雨

病癒え一時退院小豆粥

秋思ありベットシヨップの子犬

六七八回句会

眠れず自問自答や寒露の夜

松手入れ俄仕込の三分刈り

海を背にはさみの響く松手入

生受けて大さきの丸文化の日

町内の力作展示文化の日

乱読の本の整理や文化の日

駅長の終車見送る十三夜

紫に空塗りたくる文化の日

文化の日書架に褪せた文庫本

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

河合澄子

報告 秋の市民茶会、豊橋総合いけばな展、愛知県民茶会を開催しました。

10月6日(日)・27日(日)に秋の市民茶会、10月19日(土)・20日(日)に豊橋総合いけばな展を開催しました。秋の市民茶会は、市民文化会館改修工事のため豊橋市三の丸会館で開催し、2日間で4流派が席を設け合計900服もの呈茶が振舞われました。豊橋公園を散歩中の方が、思わず千切庵で本格的なお茶を愉しめたとの声をいただくなど、好評でした。いけばな展では8流派が出展するとともに、児童参加の部もあり、児童参加は1日で募集定員に達するなど大変好評でした。また、今年は10月13日(日)に愛知県民茶会が蒲郡市民会館で開かれ、豊橋から茶道宗偏吉田流が参加し、三河から計10流派によるお席はどれも大賑わいとなりました。



▲秋の市民茶会(煎茶売茶流)



▲県民茶会(茶道宗偏吉田流)



▲いけばな展のようす

お抹茶の愉しみ方講座

■とき/令和7年2月21日(金)・28日(金)
午前10時～正午 ※全2回講座

■ところ/豊橋市三の丸会館

丁寧にいれた一服のお茶には、心をほっと和ませてくれるものがあります。2回の短い講座の中で、お点前をいだいて茶道の基本を体験します。

▼講師/後藤豊子(宗偏流豊橋支部)他 ▼定員

▼12名▼参加費/2,000円▼申込み/先着順、1月14日(火)から三の丸会館(Tel.56-6022)受付:9時～16時30分



コンサートホールお試し体験

ライフポートとよはしコンサートホールのステージを体験してみませんか?ピアノ演奏はもちろん、コーラス、ダンスなどにご利用いただけます。

■とき/令和7年3月15日(土)、20日(木・祝)

■ところ/ライフポートとよはしコンサートホール

▼時間区分/①10時～12時 ②13時～15時 ③15時30分～17時30分 ④18時～20時

▼利用料金/1区分3,000円 ▼対象/豊橋市内を中心に文化活動をしている団体又は個人 ▼注意/観客を入れてのご利用はできません。スタインウェイピアノをご利用いただけます。その他詳細はライフポートとよはしへご確認ください。

▼お申込み/2月14日(金)午前9時からライフポートとよはし総合案内所(Tel.33-2111)

晩夏乗せ白雲ゆつたり深いぬ城跡からの声なき声も 岩瀬美子
古希すぎし義姉と吾と姪二人チヤラ娘の女子会満開に咲く 長谷川公代
表浜トワイライトの数分は言葉のみ込むまがまがしき色 鈴木りのり
十一月 日曜歌会 伊藤はつあ
大要と不幸は違ふと夫に言う届かなかつた私の言葉
丸しばりみかん五個分みずみずとかさつく喉に潤い 内藤よし胡
水路へと夕日まつすく差し込めば炎となりて水面は燃ゆる 池田あつ子
つばつて生きてゆこうと午前四時ラジオの声に吾もうなずく 河合美智子
待つてるよ雄々しく征きし兄さん達のホタルとなりて還り来八 岡田宏子
何をあてに捻る穂波きららさきの舞ひ立つ朝をなほ膨らみて 丹羽智子
十月の月上旬なれどクワイラーの音の間こゆる中央図書館 小池保利
作業着の後期のドラエモン特技は無いがポケットが好き 西郷賢谷
別れ際「きちんとこはん食べりんよ」思ひがけなく癒されてを 岩瀬美子
鳴き馴れぬ声ににきりて鳥が聴きさみしいようと聞こえる 真造富久代
「あなただけ」と吐くやうに秘密告げられたりカリーブミラーに 宇佐美幸枝
何も映らず
▼豊橋市民俳句会
六七八回句会
小豆すず旧街道の石畳 佐藤英子
太き指置躍らせて打ちにけり 篠田和代
蓮の実のおかたとびし水の錆 大河美智子
蓮の実の飛んで知り得る親心 鳥居節子
綾取りの指先連れ夜長かな 後藤清海人
いづこより笛の音聞こゆ無月 坂部靖子
行列のできるうどん屋秋の雨 杉浦雅光
病癒え一時退院小豆粥 加藤美津子
秋思ありベットシヨップの子犬 河合澄子
六七八回句会
眠れず自問自答や寒露の夜 佐藤英子
松手入れ俄仕込の三分刈り 加藤美津子
海を背にはさみの響く松手入 高橋良子
生受けて大さきの丸文化の日 篠田和代
町内の力作展示文化の日 杉浦雅光
乱読の本の整理や文化の日 後藤清海人
駅長の終車見送る十三夜 大河美智子
紫に空塗りたくる文化の日 坂部靖子
文化の日書架に褪せた文庫本 河合澄子